

里地里山保全活動コンテスト30

県内から2団体選出

里地や里山の保全維持に「売新聞社主催、環境省共催」(ちご山里ファン倶楽部)上
 尽力している全国の三十団に、県内からは「トキの野
 越市」の二団体が選ばれた。
 体を顕彰する「里地里山保
 生復帰連絡協議会」(佐渡
 全活動コンテスト30) (読市)、「NPO法人かみえ
 の声」を聞いた。

えさ場整備などに尽力

トキの野生復帰連絡協議会(佐渡市)



児童たちと生き物調査をする高野毅会長
 (左端)(トキの野生復帰連絡協議会提供)

連絡協議会は、トキの野
 生復帰を目指す佐渡市の住
 民グループや新潟大学の研
 究プロジェクトなど三十五
 前後の団体が連携し、昨年
 十一月に結成された。

それを束ねる高野毅会長
 (60)は「支えてくれる仲間
 たちの大きな励みになる。
 本當にうれしい」と受賞を
 喜んだ。トキの野生復帰は、
 トキの保護に生涯をささげ
 た父、故・高治さんから引
 き継いだ夢。自身も新穂振
 興公社に勤める傍ら、えさ
 場の環境整備などに力を尽
 くしてきた。

協議会では五月から、田
 んぼでの生き物調査など、
 小中学校の体験学習の受け
 入れを始めた。今月も三百
 五十人を超える子どもたち

と子に触れる。「農村の生
 とを学んでもらえれば」
 活を体験することで、自然
 そんな思いが込められてい
 る。や周囲の人と共に生き



「美しい里山と田を守って生きたい」と語る和瀬
 田仙二さん(右)と中川幹太さん(上越市横畑)

地元の観光資源発掘

NPO法人かみえちご

山里ファン倶楽部 (上越市)

美しい自然と、消滅しつ
 つある伝統文化を受け継ご
 うと、二〇〇一年九月に設
 業和瀬田仙二さん(63)は
 立された。スタッフは都会
 「若い人たちがよくやっ

掘。人を呼び寄せ、若者
 の定住を促してきた。か
 やぶきの古民家の改修や
 水車の復活など里山の景観
 保全にも積極的に取り組
 む。

土地っ子の和瀬田さんは
 「都会の若者たちが我々
 のたどってきた足跡をも
 う一回たどり、ネジを巻
 き直しているんです」と話
 す。

中川幹太事務局長(28)ら
 九人の常勤スタッフは、地
 元の農耕文化が今も色濃く
 残る。